

■しずだい産学連携メールマガジンVol. 13

2009年3月5日発行 【臨時号】

⇒静大産学連携広報より、お知らせやイベント情報をお届けします。
<http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/>からもご覧いただけます。

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

1. 「地域から広域的産学連携展開への戦略」を開催します
2. 「地域イノベーションの創出に向けた産学連携戦略」を開催します
3. 「東海iNET新技術説明会」を開催します

-
1. 「地域から広域的産学連携展開への戦略」を開催します
～ 静岡大学産学連携レビュー in Tokyo ～
【文部科学省 産学官連携戦略展開事業 戦略展開プログラム】

日時 2009年3月18日(水) 14:00～16:30
会場 東京国際フォーラム ガラス棟7階 G701
主催 国立大学法人静岡大学、文部科学省、東海iNET
共催 国際・大学知財本部コンソーシアム
内容 ○発表 14:10～14:40
「地域大学とグローバル企業の連携への課題と提案」
ヤマハ発動機株式会社 取締役 鈴木正人氏
○発表 14:40～15:10
「静岡大学の共同研究の評価」
静岡大学イノベーション共同研究センターNEDOフェロー 関雄二
静岡大学イノベーション共同研究センター
産学連携プロデューサー 岩澤一馬
○発表 15:30～16:30
「日本の大学における産学連携活動に対する評価と提案
— 海外への展開を含めて」
静岡大学イノベーション共同研究センター長、教授 木村雅和
【ビデオ放映】
Ocean TOMO LLCディレクター Dipanjan Nag, Ph.D., MBA
参加費 無料
定員 80名(先着順)
申込締切 2009年3月16日(月)
詳細/申込 <http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/center/eventlog/no64.html>
問合せ先 静岡大学知的財産本部
TEL 053-478-1414

-
2. 「地域イノベーションの創出に向けた産学連携戦略」を開催します
～ 静岡大学産学連携レビュー in Hamamatsu ～
【文部科学省 産学官連携戦略展開事業 戦略展開プログラム】

日時 2009年3月19日(木) 14:30～17:00
会場 オークラクトシティホテル浜松3階 メイフェア
主催 国立大学法人静岡大学、文部科学省、東海iNET
内容 ○発表 14:40～15:10
「地域大学とグローバル企業の連携への課題と提案」
ヤマハ発動機株式会社 取締役 鈴木正人氏
○発表 15:10～15:40
「静岡大学の共同研究の評価」

静岡大学イノベーション共同研究センターNEDOフェロー 関雄二
静岡大学イノベーション共同研究センター
産学連携プロデューサー 岩澤一馬

○発表 16:00~17:00

「日本の大学における産学連携活動に対する評価と提案

— 海外への展開を含めて」

静岡大学イノベーション共同研究センター長、教授 木村雅和

【ビデオ放映】

Ocean TOMO LLCディレクター Dipanjan Nag, Ph. D., MBA

参加費 無料

定員 50名（先着順）

申込締切 2009年3月16日（月）

詳細/申込 <http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/center/eventlog/no65.html>

問合せ先 静岡大学知的財産本部

TEL 053-478-1414

3. 「東海iNET新技術説明会」を開催します
【文部科学省 産学官連携戦略展開事業 戦略展開プログラム】

日時 2009年3月27日（金）

会場 科学技術振興機構JSTホール（東京：市ヶ谷）

主催 静岡大学、豊橋技術科学大学、静岡県立大学、静岡理工科大学、
豊田工業高等専門学校、浜松医科大学、沼津工業高等専門学校、
科学技術振興機構

プログラム

- 1 HBs ペプチド融合体—多様なワクチン創生のための素材—
浜松医科大学 医学部 感染症学感染機構解析部門 教授 上田 啓次
- 2 悪性脳腫瘍治療用の遺伝子発現ベクター細胞の開発
浜松医科大学 医学部 脳神経外科 教授 難波 宏樹
- 3 キトサン高分子界面活性剤を用いた化粧品及び機能性不織布の開発
静岡県立大学 環境科学研究所 教授 吉岡 寿
- 4 超高速読み出し可能な、可動ミラーアレイによるホログラムメモリ読み出し
静岡大学 工学部 電気電子工学科 准教授 渡邊 実
- 5 光干渉と三角測量を複合して用いる高精度広範囲な距離センサ
豊田工業高等専門学校 情報工学科 教授 松田 文夫
- 6 市販PCの処理速度でも映像ブレをリアルタイムで補正
静岡大学 大学院工学研究科 機械工学専攻 教授 三浦 憲二郎
- 7 光触媒を共存させ、紫外線もしくはUV-LED光照射によるトルエン類の
直接酸化から芳香族アルデヒド類を製造する技術
沼津工業高等専門学校 物質工学科 教授 押川 達夫
- 8 ナノ複合粒子の新規製法とそれを用いた複合材の製造方法
豊橋技術科学大学 工学部 物質工学系 助教 武藤 浩行
- 9 窒素プラズマを用いた窒化物半導体の溶液成長
静岡理工科大学 理工学部 電気電子工学科 准教授 小澤 哲夫
- 10 医薬品開発を指向した含フッ素有機化合物の新規合成法
豊橋技術科学大学 工学部 物質工学系 助教 柴富 一孝

参加費 無料

詳細/申込 <http://www.jstshingi.jp/tokai-i/index.html>

問合せ先 静岡大学知的財産本部

TEL 053-478-1414

《 みんなのコラム 》

2月26~28日に「PHOTON FAIR 2009」が浜松で催された。前回は迎える立場であったが、今回は参加者としてじっくり見学した。アクトシテ

伊浜松の展示ホール全体にわたったブースには、多様な技術と製品がびっしりと並べられ、現在の浜松ホトニクスの勢いを感じた。

思えば40年前、年間売り上げが1億円を超えそうだと酒盛りしたが、今では1000億円である。この会社を支える特許部門を一人で始めた時は、全くゼロからのスタートだったが、その後、発明者と弁理士と特許部員とでブラッシュアップするシステムを作り、数千件の発明をまとめて出願するまでの部門になったことを思うと誇らしい気持ちになる。当時、あの晝馬社長が俺も参加させろと言ってきた時は、特許部長冥利に尽きると感じたものだ。現在、定年退職で会社を離れた寂しさはあるが、この経験を活かす場を与えてくれた静岡大学と知的財産本部に感謝しつつ、浜松に生まれた幸せを感じている。
(記：橋本誠一郎)

《 編集後記 》

この3月、静大ブランドの日本酒「静大育ち」が誕生しました。静大の農場で収穫された酒米を使ったオリジナルです。名前はもちろん瓶ラベルのデザインも一般公募により決まりました。ある先生が試飲したところ、大変上品で美味しかったとのことです。来年度は静岡大学創立60周年。この他の記念事業にもどうぞご注目ください。

* - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * -

◆メールマガジンに関するお問合せ・配信先変更・担当者変更・購読中止のご連絡は、sangakukoho50cjr.shizuoka.ac.jp までお願いします。(↑送付の際は〇欄に@を入れてください。)

◆本メールマガジンの商業用の転載はお断りいたします。

発 | 行 | 者 |

国立大学法人静岡大学イノベーション共同研究センター
編集：原典子
編集責任者：木村雅和
〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1
TEL053-478-1414

* - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * -
by Copyright(c)2008-2009 Innovation and Joint Research Center,
Shizuoka University. All rights reserved